

報告

今年注目の図書館一

武雄市図書館は誰のものか

多くの地方自治体が財政難にあえぐ中、公共図書館には、指定管理者制度を導入して運営を民間企業に任すところも出て来ています。けやきでは、その是非について学んだり、考えて来ました（ニュースレター38号で報告）。

さて、今年4月、受託民間企業が経営する商業施設を併設した公共図書館が登場しました。公共図書館の新たなモデルとうたう、佐賀県の武雄市図書館です。

「本屋とカフェを併設した画期的な公共図書館」「朝9時～夜9時まで/365日年中無休」として改装オープンし、注目を集めています。同様の施設の建設を目指す自治体も、いくつか出て来ています。賞賛の声もある一方、公共図書館としてのあり方について懸念や批判も聞えてきます。この武雄市図書館について、11月に大阪で開催された講演会にけやき事務局メンバーが参加してきました。

● 武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会 代表世話人
井上一夫氏の講演

「奪われた私たちの図書館・歴史資料館」を聞いて

けやき会員 永井麻里

佐賀県武雄市は、今年（2013年）一躍全国にその名を轟かせた。4月に改装オープンした武雄市図書館が、「本屋（蔦屋書店）とカフェ（スターバックスコーヒー）を併設した画期的な公共図書館」として数々の全国紙やテレビ番組で報道され、日頃図書館に余り関心を持たない人たちの目をも惹く抜群の吸引力で、巷の話題となったからである。連日多くの来館者で賑わい、年間達成目標であった来館者数50万人を早や半年で達成したと賞賛され、全国から多数の行政や議会関係者が視察に訪れているという。

その一方で、利用者の理想の図書館の実現を願ってささやかながら活動を続けているものにとっては、驚くような情報も次々と飛び込んできた。武雄市図書館の指定管理者は蔦屋書店やCD/DVDレンタルショップTSUTAYAの運営会社カルチュア・コンビニエンス・クラブ社（以下「CCC」）であるが、自社のショップで営業促進手段の一つとして使っているT-ポイントカードを図書館カードとして

使用するというのだ。「図書館で本を借りたらポイントが付き、そのポイントは、CCCのショップや提携ショップ（ファミリーマートやヤフーなど）で1ポイント=1円として使えてお得！」というわけだが、図書館での貸出履歴などの個人情報が民間会社に流出したり、それが商業利用される可能性を考えると、空恐ろしい。結局、情報セキュリティ関係者や日本図書館協会、日本文藝家協会等から数々の懸念が表明され、図書館利用者が従来の図書館カードを選択することも認めるようにはなったが、現場ではT-ポイントカードへの勧誘が続いているという。

また、新図書館は、入ってすぐのところに本屋とスターバックスがあり、本の売り場を通らないと図書館部分には行けず、しかも子どもの本のコーナーは最も奥まったところにあるそうだ。閲覧席は屋外テラスも入れ100席余りあるが、約半分はスターバックスの椅子である。こ

れでは、「コーヒーを飲みながら本が読める図書館」というより、「お金を出してコーヒーを飲まないで座って本が読めない図書館」ではないか、とってしまう。そして、図書館が定期購入する雑誌の種類は大幅に減り、「600タイトルの雑誌が読める」とうたっている雑誌の大半は本屋部分で販売しているものだという。書店の雑誌売り場ではバックナンバーを見ることは出来ない。どう見ても商業部分を優先した施設であり、「高齢者や子ども、経済的・身体的・社会的弱者の基本的な権利を保障する」という公共図書館の使命に沿ったものとは言えないのではないか、と感じていた。

「武雄市図書館は、多くのメディアが喧伝しているように、本当に素晴らしい図書館なのだろうか？」と疑問に思い、「地元の利用者の生の声をぜひ聞きたいものだ」と願っていたところに、大阪の「明日の中之島図書館を考える会」の招きで井上氏が来阪されることを知った。11月11日

の夜、大阪市中之島の中央公会堂で、この機会を設けてくださった「明日の中之島図書館を考える会」のみなさんに感謝しつつ、井上氏のお話を拝聴した。

井上氏は、一級建築士の資格を持ち、武雄市役所の職員として後述する文化会館の建設なども手がけられた。その後保育園長を長く務められ、2011年からは「子どもまち研究所」を立ち上げて子どもの目線で考えるまちづくりを提案、地元の地域づくりに積極的に携わっておられる。古武士のような気品と風格が漂う井上氏が、子どもたちのことを語られる時のまなざしは温かく柔らかい。大きくスクリーンに映し出された図書館・歴史資料館の写真を指し示しながら声高ではなくむしろ淡淡と話されるのだが、長い時間をかけて地域住民が行政とともに作り上げた図書館・歴史資料館を奪われた無念さや悲しみが、聴くものにひしひしと伝わってきた。

もともとどのような図書館だったのか

お話を伺ってまず驚いたのは、リニューアル前の図書館が、まだ新しく、とても素晴らしい施設であったことである。2000年に竣工オープンしたというから、我々の活動拠点の京都市左京図書館よりもさらに1年新しい。

武雄市では、まちづくりには市民の自立が必要と1970年代から文化政策が提唱され、市民の生涯学習拠点施設として、大小のホールや公民館などからなる文化会館と図書館・歴史資料館がペアでつくられた。町のシンボル御船山に囲まれた美しい谷の一角、武雄鍋島領主屋敷跡にまず文

化会館が建てられ、隣接した谷に図書館・歴史資料館は建設された。一帯には武雄神社や領主敷跡の庭園などがあり、学校も集まっている。そのかけがえのない武雄市の“文化の森ゾーン”に、図書館と歴史資料館は建設されたのである。

武雄の伝統行事である流鏝馬の的をデザインしたトップライトを持つ美しい外観、内部は、天井が高く吹き抜けのゆったりとした空間で、自然光が壁から床に反射し明るく書架を照らしていた。カラーコンディションも書架の高さや間隔も、やさしくゆったりと利用者に応じていた。武雄には樹齢3千年といわれる有名な大楠があるが、子どものコーナーのおはなしの部屋はその大楠の祠をイメージしたものだったという。そのすぐそばにトイレと手洗い場・授乳室があり、2階には自由学習室・グループ学習室もあって、児童生徒や乳幼児連れの親子への配慮も行き届いた図書館であったことがわかる。

そしてこの図書館には、武雄市民の誇りである貴重な蘭学史料を中心に、記紀時代からの歴史資料を収集展示する歴史資料館（武雄蘭学館）が併設されていた。幕末・明治維新の頃に武雄鍋島領が製造した日本最初の大砲や、航海に欠かせない天球儀・地球儀、技術立国日本の原点・日本近代化への切り口を開けた貴重な資料や製品が展示され、それらを解説するための3D映像などの機器も設置されていた。

武雄市は2006年に隣接の2町を合併し、現在の人口は約



講演会当日配布された「武雄市図書館・歴史資料館問題資料集Ⅱ」表紙の絵の下には「私たちの町武雄は、個性的な里山に囲まれた美しい“まち”です。その一番美しい谷に、私たちの図書館・歴史資料館はありました」とある

5万人（図書館建設当時は3万人）である。施設設備の点では、市費4.5億円の大金を投じてわざわざ改装する必要

などない、うらやましいほどの図書館であったことがわかる。

どのように変えられたのか

スターバックスコーヒーの店舗は、子どものコーナーのおはなしの部屋があったところに造られた。そこは入り口に近くトイレ、つまり水回り設備がある場所だったからだ。武雄蘭学館はCD/DVDレンタルショップTSUTAYAになり、貴重な歴史資料を常設展示する場所は今は無い。図書館へは、書店のマガジストリートと称する売り場を通らないと行けない。事務室や閉架書庫などのバックヤードは、ほぼ消滅と言ってよいくらい、大幅に削られた。改修前4ヶ所あったトイレは一つにまとめられ、子ども用トイレは子どものコーナーから一番遠い場所に男女各1か所あるだけである。

書店やカフェにスペース奪われ奥深くに追いやられた図書

館の部分を、約20万冊の蔵書を全て開架で並べるために、天井まで届く書架が取り囲む。新たに設置された書架は高く間隔も狭くて、車いすやベビーカーでの館内移動は以前より難しくなった。蔦屋書店独自の本の分類が採用されているせいもあり、目指す本を求めてまるで迷路を彷徨(さまよ)うようだという。

井上氏は、火事や地震など災害が起こった時に“避難経路が確保されていない”と建築の専門家として強く指摘されている。新たに増築された2階の閲覧バルコニーにも天井までの書架が設置されており、“地震の際に本が手すりを飛び超え1階まで落下して凶器となりかねない”と心配しておられる。

指定管理者制度の導入と施設改装の経緯

改装前の武雄市図書館やそれがどのように改変されたかを知り、そのうえで強権的で性急な指定管理者制度の導入と施設改装の経緯をお聞きすると、新図書館への懸念はさらに強まってくる。

武雄市長は、2012年5月に武雄市図書館を指定管理者に委託運営することを東京で突然発表した。そこには既に指定管理者としてCCCの代表が同席していたという。その後武雄市教育委員会や武雄市議会への説明が行われ、手続きはすべて事後処理として行われた。図書館や歴史資料館のボランティアや関係市民団体向けの一方的な説明会は持たれたものの、武雄市民への説明は再オープン後の今も何もない。

2012年10月には前図書館は改修のため休館となり、半年後の2013年4月に新図書館はオープンした。市長の突然の発表から11ヶ月、「緩慢なお役所仕事から脱皮するために民間会社に任せ、短期間で素晴らしい図書館を造った」とマスコミではもてはやされているが、果たしてそうだろうか。地元では、新図書館に疑問を持つ発言をした市民は市長のブログ等でたちまちバッシングされ、もの言うことがとても困難になっているとも聞いた。

私たちが望む公共図書館は、「誰もが利用しやすく、誰もが行きたくなる図書館」である。武雄市長も「誰もが行きたくなる図書館をめざして図書館に本屋やカフェ・CD/DVDレンタルショップを設け、その結果来館者数が大幅に

増えた」と発言しているが、この増加数には本屋やカフェ等商業施設のみを利用した来館者も含まれている。改装前の図書館を知れば知るほど、商業施設を中心に据えた改装が、武雄市図書館活性化の最善策だったとは、とても思えないのだ。

公共図書館は、「誰も」のなかでもとくに、高齢者や子ども、それに経済的・身体的・社会的にハンディを背負っている人たちの知る権利を十全に保障する場でなければならない。それが無いがしろにされ、市外や他府県から車でやってくる来館者で溢れている「図書館のある商業施設」を、武雄市民は本当に望んでおられたのだろうか？この日井上氏のお話を伺って、ますます疑問に思った。

井上氏をはじめ「武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会」のみなさんは、本当の図書館・歴史資料館を取り戻すことを目標に、活動を続けておられる。彼の地の活動と連携しつつ、私たちもそれぞれの地で、真に地域住民の声に応えた図書館建設・図書館運営がなされるように声をあげていかねば、と思いを新たに、夜更けの中之島を後にした。

*改装された武雄市図書館の内部の様子は、インターネットの武雄市図書館ホームページにある「館内ストリートビュー」でみることもできる。

2013年度 左京図書館 読み聞かせ交流会を今年も開催

第1回/9月14日(土) 第2回/9月27日(金) 第3回/10月1日(火)
 いずれも午前10～12時、左京合同福祉センター左京図書館の上3階大会議室にて

けやきが企画協力し、年に一度3日間にわたり開かれているこの会も、今年で8回目、すっかり恒例となりました。毎年参加を楽しみにしてくださっているベテランボランティアの方もあります。一方、今春初めて小学校のPTA会員になった方や地域のおばあちゃん世代のボランティアさんの参加も年々多くなっています。この会が、左京区南部の小学校の読み語りボランティアの研修と交流の場であり、新人の方へのオリエンテーションの機会の一つとしても活用されていることがよくわかります。

また3年前から、3回のうち1回目と2回目の講義には、絵本入門講座として一般の図書館利用者にも参加を呼びかけています。より多くの方が絵本の魅力・読み語りの魅力を知る機会となればと願い、絵本入門講座と兼ねることになりました。しかし、交流会と入門講座とでは、参加者の求めるところが異なる部分もあり、講師の方達に苦勞をおかけしています。図書館との連携を一層深め、企画を再度十分練り直して、さらに実りの多い交流会や入門講座にして行きたいと思います。(永井)

第1回 9月14日

えほんたいけん・えほんたんけん～絵本に見る子どもの育ち～

講師 中川あゆみさん(名古屋女子大学講師)

講師の中川さんは絵本・児童文学研究家、翻訳家であり、毎年、「絵本」について様々な視点から基本を踏まえた非常に興味深く有意義なおはなしをしていただいている。

今年度は、18冊の絵本の中に描かれた「子どもの成長」を、読み語りも交えてわかりやすく指摘して下さった。よく知っている絵本も、あらたな切り口・視点を得て、こ

れまで見えていなかった作者の思いに気づかされ、絵本の奥深さを再認識した。また、「絵本を子どもと読む」ことは「一冊の絵本の中身や解釈を『子どもと創る』」ことだと話されたのがとても印象深かった。

今年は初めて土曜日に開催してみたが、休日にしか参加できない方には好評だった反面、幼い子どもがいる方にはやはり参加が難かしかったようだ。(永井)

第2回 9月27日

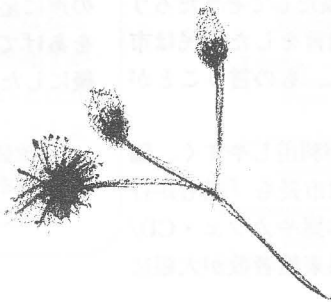
やってみよう! 読み聞かせ

講師 前田敦子さん(左京図書館司書)

「読み聞かせに適した絵本」と、読み聞かせをするときの「持ち方・読み方」について、絵本を示しながら説明されました。自分のしている読み聞かせを反省したり、納得したりしながら、丁寧な説明を聞きました。

『はらぺこあおむし』(大型)をギター伴奏に合わせた

歌を挟んで、読み聞かせをしてくださいました。司書さんもととても楽しそうで、自信を持って読み聞かせのできる、自分の十八番の絵本ができるといいなと思いながら聞かせていただきました。(田中)



科学絵本・科学読み物ブックトーク

コウモリとラッコ〜フルーツ大好き?・ポケットあるの?

講師 島崎真紀子さん(京都科学読み物研究会会員)

続いてのブックトークのテーマは「コウモリとラッコ〜フルーツ大好き?・ポケットあるの?」。

怖いコウモリ、かわいいラッコというイメージを持たれがちな両者、たくさんの科学絵本を紹介しながら生態系の中でどのような役割を果たしているのか、本当の姿は…。

「コウモリを見たことがありますか。身近なところにいるのですよ。」と、ブックトークが始まりました。コウモリの種類、大きさ、つばさの仕組み、何故逆さにぶら下がるのか、どれくらいの量の虫を食べるか、海の世界を守るラッコのことなど、クイズを出されたり、本の図で説明されたり、興味は尽きませんでした。科学のジャンルだけでなく

読み物なども含んだ30冊ほどの本を紹介されました。

「写真絵本と絵で描かれた本があるが、絵で描いてあるほうが分かりやすい場合もある」「子どもには実物大の大きさが示してあるとわかりやすい」「つばさの仕組みの説明の仕方一つとってもいろいろあるので読み比べ、わかりやすいものを選びたい」など、本選びのポイントを教えてくださいました。

「本から自然へ、自然から本へ」と誘うお話を聞かせていただき、ブックトークが終ってから紹介された本を手にとる方がたくさんおられました。(田中)

第3回 10月1日

各自が選んだ絵本を持ち寄って実践交流会

第3回は、グループに分かれて絵本をよむ実践交流会です。今年は昨年の反省を踏まえ、1グループの人数を減らし5グループにしました。

さらに交流場所を3階の会議室だけでなく、図書館の絵本コーナー、雑誌コーナーも利用(火曜で休館日の為)しましたが、他グループの声が耳に入らず集中できたという好評でした。

各グループでは一人ずつ順番に自己紹介をし、その絵本を選んだ理由を話してから絵本をよみました。その後みんなで感想や意見を出し合いましたが、色々な気付きがあるのは実践交流のよさだと思います。その絵本を選んだ理由や思いが人それぞれにあって、興味深く聞くことができま

した。知らなかった絵本はもちろんですが、よく知っている絵本も読み手によって異なり新鮮です。

最後に参加者全員が集まって各グループの実践内容を報告し、分かち合いの時間をもちました。各学校の(今年は9校の参加)活動内容の情報交換、高学年の選書、基本的な技術についてのアドバイス、同名絵本の読み比べ、読み聞かせ中の対応等の多岐に渡る報告内容でした。

よんだ絵本は全部で22冊(下記参照)。絵本のリストと実践交流会のまとめは、後日左京図書館から各学校に送られています。これからも実践交流会が絵本を楽しみながら率直な感想や意見を述べ合って、実り多いワークショップの場となるよう願っています。(奥坂)

読み聞かせ交流会で紹介された絵本

へそもち 福音館書店

ぐぎがさんとふへぼさん 福音館書店

でんしゃでいこうでんしゃでかえろう ひさかたチャイルド

ちがうねん クレヨンハウス

プレッツェルのはじまり 偕成社

おべんとう 福音館書店

はずかしがりやのミリアム ひさかたチャイルド

3びきのくま(うちだりさこ訳) 偕成社

3びきのくま(おがさわらとよき訳) 福音館書店

うんこ人気 BL出版

トマトさん 福音館書店

キツネ BL出版

でもすきだよ、おばあちゃん 講談社

きょうのおべんとうなんだろな 福音館書店

ゆずちゃん ポプラ社

もこもここ 文研出版

じいじのさくら山 白泉社

3びきのかわいいオオカミ 富山房

やんすけとやんすけとやんすけと 三起商行

よかったねネッドくん 偕成社

ともだちひきとりや 偕成社

どうぶつにふくをきせてはいけません 朔北社

鉄道模型公開運転会を開催

10月14日の「鉄道の日」を記念して、左京図書館では27日(日)、鉄道友の会京都支部の御協力をいただき、左京合同福祉センター3階会議室で「鉄道模型公開運転会」を開催しました。

当日は、会場に入り切らないほどの多くの方にご来場いただき、会議室いっぱいに広げられた線路の上を、精巧に作られた鉄道模型が颯爽と駆け抜けました。目の前で見る迫力満点の鉄道模型に、子どもたちも大喜び。親子で車両名を教え合ったり、友の会の方にいろいろ質問したり、写真を撮ったりと、2時間という短い時間でしたが、それぞれに楽しんでおられる姿がとても印象的でした。

運転会を開催して下さった鉄道友の会京都支部の皆様、当日ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。
(左京図書館 古川)

第13回 おとなのための語りを楽しむ会

11月16日に左京図書館階上の会議室で「京都おはなしを語る会」の皆さんによる「おとなのための語りを楽しむ会」を開催。今回は、34名の参加者を迎えました。初めて参加、という方も多かったのが今回の特徴で、ゆったりと語りの世界を楽しんでおられました。

「おとなのための語りを楽しむ会」楽しんでいます

けやき会員 城野裕紀子

第1回が開かれてから、もう14年になりますが、「京都おはなしを語る会」の皆さんが沢山の語りをして下さるこの会を、毎年楽しみにしています。その時間、私は色々な時代や場所に行くことができます。

また今回気づいた事は、聞き手が初めの頃は演者の知人が多かったように思ったのですが、だんだんそうではなくなってきています。大人が語りを聞くというのは気恥ずかしい方もいらっしゃるかもしれませんが、慣れないとなかなか大変かもしれません。けれどここ数年は、聞くことに慣れ、楽しんでいる方がたくさん来てくださっていると思えました。

小寺卓也氏

写真絵本作りワークショップ作品展

9月21日22日の2日間にわたって、京都家庭文庫地域文庫連絡会主催で、北海道在住の写真絵本作家小寺卓也氏による『一身近な命を写真絵本にしてみようー写真絵本作りワークショップ』が開かれ、延べ70名の方が参加し「世界に一冊しかない写真絵本」を制作しました。講師の小寺氏は、昨年12月、左京図書館・けやき共催の講演会で、スライド&トークをして下さった方です。

小寺氏の「何を撮りたいのか見えてくる」の言葉を励みにして、京都御苑での撮影しました。その中から7枚の写真を選び、子ども達は真っ直ぐでユニークな視点で、大人は子への思い・自分の人生への思いで絵本を作り上げました。参加者はみな感動し満足しておられました。

その思いがこもった作品をぜひ多くの方に見ていただきたいと、けやきと左京図書館が参加者に呼びかけ京庫連の協力も得て、作品展が実現しました。参加者の作品約20点が、小寺氏の作品と共に、12月7日(土)から23日(月)まで、左京図書館で展示されています。(伊藤)



- | | |
|--|--|
| 1. 吉きり産 (日本の書話) (川口)
『おはなしのついで』
東京子と図書館 | 5. こぼろ まる (京本) |
| 2. 黒牛の思慮 (日本の書話) (橋本)
『世界を歩くおはなし(1)』(橋本行)
けやき会 | 6. かじりきた大臣 (イタロの書話) (矢野)
『アツタ書話』
(おはなしのついで) 京本
『下町地蔵堂の物語』(橋本行)
橋本行 |
| 3. 犬のおつかい (日本の書話) (日高)
『おはなしのついで』(橋本行)
(東京子と図書館) けやき会 | 7. ミアカヒん (イタロの書話) (伊藤)
『おはなしのついで』(橋本行)
(おはなしのついで) 橋本行 |
| 4. ワンパルツェン/ワグネル (日本の書話) (橋本)
『おはなしのついで』(橋本行)
(おはなしのついで) けやき会 | 8. ヴィカのおきり (日本の書話) (日高)
『おはなしのついで』(橋本行)
(おはなしのついで) けやき会 |

休館

けやきの活動 2013年8月～12月

- | | |
|--|--|
| 8/26.9/14.28.10/1 「読み聞かせ」交流会の準備・反省会 | 12/7 「小寺卓矢氏写真絵本作りワークショップ作品展」の展示作業
新企画検討のため、事務局メンバー有志でボイストレーニングのレッスンを受ける |
| 9/14.27.10/1. 「読み聞かせ」交流会
(1・2回は左京図書館絵本入門講座も兼ねる) | 12/7～23 「小寺卓矢氏写真絵本作りワークショップ作品展」 |
| 9月上旬～ ニュースレターNo.43原稿作成・取材・編集 | 12/20 ニュースレター43号印刷・発送 |
| 9/20 昨年度講演会の講師小寺卓矢氏と懇談会 | 12/21 冬のスペシャルお楽しみ会
(図書館主催行事には協力) |
| 10月～ 「小寺卓矢氏写真絵本作りワークショップ作品展」準備 | <図書館おたのしみ会に協力> (第4土曜) |
| 10/18 大阪府子ども文庫連絡会主催/菟田貫氏講演会「大阪の歴史・文化と中之島図書館～タンタンの想い～」及び大阪府下図書館の現状についての情報交換の会に参加(石川・永井) | 8/24.9/28.10/26.11/23
<絵本学習会> (第4金曜日、3.7.12月は第2金曜日) |
| 11月～ 「図書館で発表会」準備 | 9/20.10/25.11/22.12/13
<事務局会議><図書館とのミーティング> (原則第1月曜日) 8/26.10/7.11/5.7.12/2 |
| 11/11 明日の中之島図書館を考える会総会と井上一夫氏講演会「奪われた私たちの図書館・歴史資料館」に参加(奥坂・永井) | <絵本コーナーで‘あかちゃんに絵本を’サポーター活動>
(毎週木曜10:30-12:00) 8/1.8.15.22.29 |
| 11/16 おとなのための語りを楽しむ会 | 9/5.12.19.26. 10/3.10.17.24.31. 11/7.14.21.28.
12/5.12.19.26. |
| 12/3 図書館と共催イベント企画のため、上京区の糸あやとり人形劇団みのむしのアトリエを訪問
(石川・奥坂・永井) | |
| 12/2.7 冬のスペシャルお楽しみ会リハーサル | |

けやきの
の

本棚 43

私
おすすめの
本

笛吹き男とサクセス塾の秘密

名探偵夢水清志郎事件ノート

はやみねかおる作 村田四郎絵 講談社 2009年

これは名探偵夢水清志郎ノートシリーズの十二作目です。どの作品もおもしろいのですが、中でもこの作品はちょっとこわくておもしろいです。笛吹き男がげんまにあらわれて塾を爆破しようとする所がドキドキしますが、それを夢水清志郎がすいすいとかいけつしていく所が見ものです。三つ子と夢水清志郎の会話もおもしろいです。

(養徳小5年・Y.I.)

ふたりはともだち

アーノルド・ローベル作 三木卓訳

文化出版局 1972年

ちょっととぼけたがまくんと、しっかり者のかえるくんの友情を描いた五つのお話。そのうちのひとつ「なくしたボタン」は、がまくんがなくしたボタンをふたりで探す間のやりとりがほほえましく、お互いを思い合うともだちっていいなあと思います。「ふたりはいつしょ」「ふたりはいつも」「ふたりはきょうも」も併せて読みたいシリーズ。

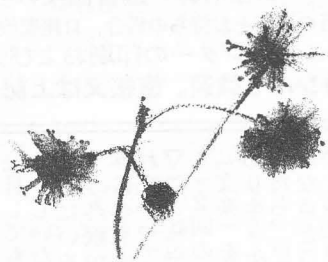
(会員・樋口みづほ)

靴を売るシンデレラ

ジョン・パウアー著 灰島かり訳

小学館 2009年

靴屋でアルバイトをしているジェナは、靴を売る天才的なセンスを持っています。その才能を見初めたオーナーにひと夏運転手として雇いたいと言われ…。アル中の父、美貌の妹、身長コンプレックスなど様々な悩みを抱えながらも、前向きに頑張るジェナの姿がさわやかなYA小説です。読めばきっと元気がもらえるはずです。(左京図書館・夏秋まどか)



□ 「図書館で発表会」の作品大募集

図書館の資料を使って、<できたこと>や<わかったこと>を、

図書館で発表しませんか？

応募していただいた作品は、

2014年2月27日(木)から3月24日(月)まで、左京図書館内に展示します。

詳しくは図書館で配布中のチラシをご覧ください。

問合せは左京図書館(Tel 075-722-4032)へ。

過去3回の発表会では、「野の道だより」「赤ちゃんも大好き、初めての絵本」「コーヒーの魅力について」「塩の研究」など図書館の本を使って調べたことを楽しくわかりやすくまとめてくださったものや、本を見て作った刺し子や編み物など、パラエティーに富んだ力作を、小学生からシニア世代まで幅広い年齢層の方が、出品してくださいました。

あなたも、ぜひご参加ください。

◆図書館友の会 けやき の仲間になりませんか◆

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい
そんな私たちの望みをかなえ、

一人一人の世界を豊かにしてくれる場所
それが私たちの願う図書館です

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。

図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会(毎月第4土曜日11:00)に協力。

絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃんに絵本を」サポーター

毎週木曜日10:30~12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者をつなぐ活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日10:00~。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ

下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方

TEL/FAX 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番

口座名称 図書館友の会 けやき

◎ゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合、口座間振替で無料で送金できます。

年会費はニュースレターの印刷および郵送料の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

けやき情報版

左京図書館絵本学習会

日時：毎月第4金曜 午前10~12時

3月7月12月は第2金曜

場所：左京図書館の上3階会議室

「読み聞かせ」交流会の参加者アンケートに「こんな会を毎月開いて欲しい」という声がありました。この会はまさにそれ！です。テーマを決め図書館から本を借りてその場で読み合っています。読んでもらう喜びが味わえ、新たな発見も生まれます。小学校でのおはなし会活動などの情報交換も。とっても楽しい集まりです。1月は24日に「大震災や原発事故の絵本」を読み合います。どなたでも、どうぞ気軽に、ご参加ください。

ドキュメンタリー映画

『疎開した40万冊の図書』

上映会

日時：2014年3月3日(月) 2回上映

午後の部：14時~16時40分

(13時半開場)

夜の部：18時20分~20時40分

(18時開場)

場所：エルおおさか

(地下鉄・京阪天満橋駅下車西へ5分)

午後の部：視聴覚室 夜の部：南ホール

入場料：前売り券800円

当日券1000円

*金高謙二監督のトークショー、著作販売等も予定

問合せ：『疎開した40万冊の図書』を上映する会(E-mailsokai-osk@sisyo.jp)

編 集 後 記
左京図書館で十一月に、
モリの本を借りようとしたら、
何冊かが貸出し中。九月の科
の本のブックトークで、コウモ
リの本を紹介したので、それで
注目の本も紹介したので、この
うに、いながらも思っているの
辺りにいるアブラコウモリは
もう冬眠中？でもコウモリは
本は冬もあちこちに借り出す
これについてほしいです(き)
▽この数年、友人に誘われ、年
1・2回のペースで人形浄瑠璃
「文楽」を鑑賞して、人形浄瑠
あり生き生きと表情豊かな人
形たち、声量たっぷりでつやや
かな声と三味線がピツタリ息
絶え絶えの浄瑠璃語り、それら
の妙深い世界を作り上げて、味
わらぬ深い世界を作り上げて、味
る。次世代にちゃんと継承され、
子どもたちにも気軽に鑑賞で
欲しいと思う。(り)

◇けやき

第43号 2013年12月20日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
題 字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん
カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき
京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方
TEL/FAX 075-721-2625